

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	2026年 1月 9日		～ 2026年 1月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11件	(回答者数) 10件
○従業者評価実施期間	2026年 1月 16日		～ 2026年 1月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 5日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	すべての職員が児童福祉分野で5～10年以上の経験年数が豊富な職員で構成されている。ここ2年は主要メンバーの変更は無く、在籍されている児童とも安定した関係を築けている。	利用者様の成長を見ながら目標・計画を立てている。	更に専門性を高めるために事業所内、外の研修を積極的に受講する。
2	専門的分野からの助言が頂けるので、個人の目的に適した支援を行える。	理学療法士によるリハビリメニューを基にしたリハビリ表を各利用者に作成している。その表を用いてスタッフやご家族との情報共有とリハビリの進み具合を連携している。	全職員が各利用者の支援のねらいや意味を理解することの徹底をするため職員間のコミュニケーションをさらに深める。
3	定期的にHP・ブログで活動内容の情報提供を行っている。	日頃から利用者さんの活動の様子を写真に収めている。広報担当者が週に1回程度でHPに活動内容を投稿している。	今後も児童のプライバシーに配慮しつつ、活動内容の魅力を伝えていけるよう努めていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	スペースは規定を満たしているが、周囲への配慮が必要となる。	活動内容の制限。個別支援の場が確保しづらい。	近隣へ散歩、送迎車でドライブ、同法人保育園の一部利用など活動内容に応じてスペースの確保ができるよう工夫を行っている。また、定員数を超さないように調整していく。
2	地域交流参加の機会が少なく、利用者全員が平等に参加できない。	地域のイベントの開催が多い土日祝日が休所のため、参加しづらい。送迎車が一台のみ、人員の確保も困難なため全員をイベントに連れていくことが難しい時がある。	お出かけのしやすい一日開所は、事前にイベント計画を立て人員の確保をします。平等にイベントに参加が出来るよう計画を立てます。
3	保護者等も参加できる研修の情報提供が少ない。	親向けの研修会やペアレント・トレーニングの機会が少ない。子どもの障害特性や対応方法について、家族へ情報共有する機会がない。	外部機関のセミナー情報をメールやマチコミで周知する。日頃の子供の状況を、保護者より高頻度で伝え合う体制を作る。保護者同士の相談会や座談会を企画する。